

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：企業立地対策費

事業名 テクノプラザものづくり支援センター管理運営費（R8分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

商工労働部 産業デジタル推進課 IT拠点活用推進係 電話番号：058-272-1111(内3723)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 189,928 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 入 収	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	189,928	30,019	0	0	0	0	0	0	159,909
決定額	189,928	30,019	0	0	0	0	0	0	159,909

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

テクノプラザものづくり支援センター・本館、第1別館、第2別館及びベンチャーファクトリーの4県有施設について、施設管理及び運営を効率的に行うため、指定管理者制度を導入し、指定管理者による施設の維持管理、運営を実施する。

（２）事業内容

- ・指定管理期間
令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）
- ・指定管理業務
 - ①施設の維持管理業務（警備、清掃、設備点検及び受付案内等）
 - ②施設の使用許可（本館実証室、ベンチャーファクトリー、会議室及びホール等）
 - ③立地企業等の連携交流、産業人材育成研修業務
 - ④利用料金等の収受
 - ⑤施設のPR及びイベントの企画 等

（３）県負担・補助率の考え方

指定管理業務の実施にあたり、利用料金等の収入だけでは管理・運営に係る経費が賄われないため、県負担による指定管理料が必要となる。

3 事業費の積算 内訳

支出

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	189,928	指定管理料：189,928
合計	189,928	

※指定管理料 債務負担設定額：1,134,720千円
(226,944千円／年×5年[R6～R10年度]＝1,134,720千円)

収入

(単位：千円)

使用料	目的外使用許可団体使用料	4,814
	(株) ブイ・アール・テクノセンター 土地貸付料	6,133
	計	10,947
財産収入	ベンチャーファクトリーA棟	2,603
	計	2,603

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

＜岐阜県経済・雇用再生戦略＞

2 「DX」・「GX」推進加速化プロジェクト

＜新たなビジネスモデルの創出支援＞

(1) ソフトピアジャパン・テクノプラザの機能拡充・連携強化

- IT企業の集積拠点である「ソフトピアジャパン」と、産業のデジタル化や新産業創出を目指すものづくりの総合拠点である「テクノプラザ」との連携を強化し、新たなビジネスモデルの創出に向けそれぞれの強みを生かした総合的な支援を推進する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

令和7年度3月補正予算

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

テクノプラザものづくり支援センターについて、指定管理者による管理運営を行い、県民生活の向上及び岐阜県のものづくり産業の振興を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 目標	R7年度 目標	(現計予算 目標	終期目標 (R10)	達成率
①施設平均稼働率（ベンチャーファクトリー除く）【課内指標】	25.5%	42%	42%	45%	50%	
②ものづくり産業等人材育成研修等の受講者数			900	900	900	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	指標① 目標： 実績： 達成率：
令和5年度	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和6年度	施設の広報に重点を置き、知名度向上に取り組むことで、目標の施設稼働率を達成した。 企画事業の実施にあたり、テクノプラザ進出企業や産業関連機関と連携を取り、参加者の満足度が高い事業を実施した。
	指標① 目標： 42% 実績： 42% 達成率： 100%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

施設(貸会議室・図書資料室等)の周知を図り、利用率を向上させていく必要がある。また、「ものづくり産業の総合支援拠点」として、少子高齢化による人材不足、原材料やエネルギー価格の高騰など様々な課題に直面する県内ものづくり産業の持続可能な成長を後押しし、地域経済の発展に貢献する必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

引き続き指定管理者と連携し、テクノプラザものづくり支援センター全体での効率的な施設運営を図り、「ものづくり産業の総合支援拠点」としての機能強化を図っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など